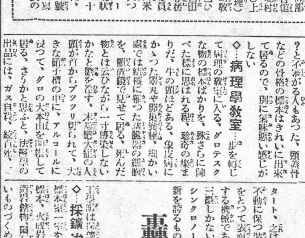
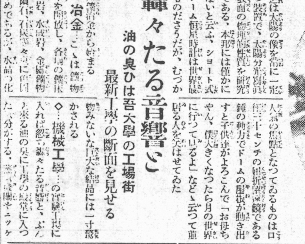
京都帝國大學新聞
昭和六年六月二十一日（日曜日）
京都帝國大學新聞
第百四十五號（一）

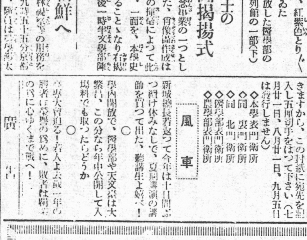
めづらしや—新城總長も講壇に

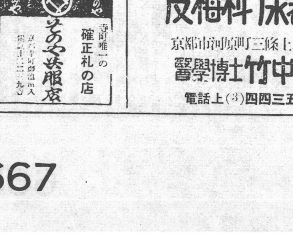
恒例の講演會は八月一日から

夏ひらく學の殿堂









大學へ！大學へ！

公開の日を—待ちかねて

押寄せた人の群—

グロ味たつぷり

◇……醫學部の諸陳列

力強き感銘を

神戸中京兩市民に

共濟部講演會終る

夢の世界を展開した

文學部陳列館

今年はじめて大衆に

天文臺はお目見得

山頂までの臨時京阪バスは滿員すし詰の盛況

轟々たる音響と

油の臭ひは巻六臺の工場街

最新工場の斷面を見せる

呼び物の切花は

畫までに賣切れ

耕作用トラクター二臺繰も

僅かモボも出た農學部

耳から眼から……

大衆に呼びかく

映畫と講演

日本刀の切味も

成程と思はせる

金相學教室

司法科本試驗

經濟學部例會

經濟選科生の

來出刊新

魚澄惣五郎先生著

古社寺の研究

菊版六百頁　定價金五圓

函入特製本　〔送料拾八錢〕

山本の夏帽

京大學友會
共濟部指定

京都市能野神社丸太町上ル東側

山本帽子店

京都帝國經營學會

經濟と經營

第2卷【7月號】第1號

發行所

京都市丸太町麩川西入　振替大阪四九四九一番　星野書店

大賣捌（關東）東京堂・有斐堂（關西）柳原書店

京都帝國大學新聞

發行所

京都市左京區吉田泉殿町　振替京都一〇〇番　京都帝國大學新聞社

大賣捌（關東）東京堂・有斐堂（關西）柳原書店

房書館風雄

東京市麹町區飯田町六ノ五　振替東京五六〇番

野上病院

皮膚梅毒科

竹中博士醫學

尿器科

肺氣療養候所

眼鏡

洋服店

喫茶酒場

サロン　バス　ロンド

理髮

美容

化粧品

香水

山本帽子店

税制整理の「諸目標」【下】

神戸正雄

經濟上の點から……

第三經濟上の點から見ると、第一に積極的に經濟界の進捗を促がすやうといふ目標で税制整理をすることも出來る、例之、此見地から法人配當の源泉課税が主張せられる、次ぎには經濟界の發達の妨害を除くといふ見地もある、一般的に見て税制整理其ものが經濟の安定を破り、經濟發展の障碍となるやうにもいふが、それは必要有益なる整理改正である以上は、許さなければならぬ、次ぎに今日の經濟界の不況の狀態を特に考へて見ねばならぬ、卽ち貨幣價値の騰貴・物價下落の點から從來の税負擔が加重となつて居る、大體に於て減率を至當とすることになる、又一般に農、商、工業者

段階にも税額にも換算を要しその他複雜なる考慮をしなければならぬ、印紙税にも特別の困難がある、次に（け）現在の租税制度を公平に見た今の假定を離れて考へてみるに、實際には現在の制度に多々不公平な點がある、その一は、日本ばかりでなく世界各國に於て殆ど共通な缺陷である、卽ち其第一は課税物件の性質上からの困難である、例へば動産、中でも主要なものたる有價證券や預金の正確な捕捉はむづかしく相續税等の樣なものにもそれからしての脫税が多いそれには銀行、信託會社の國家で統制すればこの不備、不公平が或程度まで避けられるがそれはまだ行はれて居らぬ。

その第二は税質によるものでそれ

その附加税を地方團體に與へるといふことに改めたとしても、直接に見ては一層公平になるやうだが地方團體の折角の收入を取上げる事になるのは明かであり、間接に見れば、國税となれば課税標準の固定の期間が長いからそのために各地方間に事情の變化が異り、更に不公平を來すことにもなる、また雜種税中、自動車税の如きも今日のやうに、各地方區々に取ると不公平になる、之を國税に移して、其收入を地方に分けてやるの

最近ソビエット「ロシアの眞相」（上）

矢野仁一

ロシアははじめ世界の革命を伴ふにあらざれば、ロシア一國だけの社會主義的革命は不可能と考へたなんとかして世界の革命を惹き起

……記すとに努力しても、それだけの力がなければ、到底それは起るものでない、今のサヴイエットロシアは、それにしては餘りに弱い。それだからトロツキーの考への樣に農民の利益を考へずに、まつさきに世界に向つて革命戰爭をするよりは、此際農民を味方に勞農、相提携して、サヴイエトロシアの基礎を確實にすると必要であるといふ考へであつた、國際敵策戰の代りに、持久戰がよいといふ考へであつた、所謂職產主義時代のロシアの弱乏、な狀態を知るものは、どうして世界の擾亂を伴はずに、資本主義諸敵國に包圍されながら、ロシア一國だけの共産主義革命の建設が可能であると信ずることが出來ようか？

……蘇共産主義とは、此政策が失敗して後に於て、云ひわけの爲に作り出されたことばである、サヴイエットロシヤは當時內外の敵を引受けて戰はねばならず、軍隊及び軍需品、工場、勞働者、政府の諸機關を養はねばならず

農民は其の必要な最小限度の消費額をのぞいて、一切剩餘穀物を擧……

……つた、私營工業、銀行も許されることとなり、これにより、ロシヤの……

……し、雇傭勞働を認めたから、富農は多數の雇傭勞働者を使つて

……定めた賃貸料でその土地を……る外なかつた、當時農民の……を、いたる中農でも、依然貧困狀態をまぬかれなかつた農は農民の貧困を救ふ途に……にあると云つて之を煽動……の廉價なる穀物買上げに……此穀物の高價といふ事は……イエットロシヤに於て急……しつゝある工業の衰退從……

……主義建設の總案を意味するものであるかういふわけで、新經濟政策で、サヴイエットロシヤの崩壞を免れることは出來たが社會主義革命の意義は沒却されることになつた、西歐の革命なしに、サヴイエットロシヤの滅亡を救ふ爲に資本主義の發生を許さねばならなくなつた結果社會主義革命の建設が不可能に陷つたとすればサヴイエットロシヤの顚覆滅亡を救つた價値は何れにあるか？滅亡をまぬかれた甲斐はどれだけあるか？こゝでサヴイエットロシヤ政府は生き恥を曝すよりは死すべき時に死んだ方がましであると、このヂレンマを如何にして切拔けるかといふことを、その制度及其社會主義革命の建設を不能ならしめる方法、西歐革命の支持によらず社會主義の意義を沒却せずして、サヴイエットロシヤの社會主義革命を可能ならしめるのは如何にすべきかゝこの問題につゞき、サヴイエットロシヤ政府共產黨內でも意見は分れ鬪爭は續いた、それに今

一つ、サヴイエットロシアが一九二五年―二六年度以來當面した重大な問題はこの年から一九二八―二九年度に亘つて、サヴイエットロシア政府の農村に於ける穀物買上の不成績である、農村の穀物買上は、ロシアの輸出貿易の基礎となるのみならず工業勞働者及び政府諸機關の食糧及び活動の基礎となるもので其不成績は、直ちに之等の食物供給、及び活動停止を意味するものである、どうして、かう言ふ不成績となつたか？一つの原因は新經濟政策によつて、國民

……換を試みねばならぬ地位に立ち到つたのである、そこでスターリンはロシアの社會主義革命の建設は必ずしも、世界革命の支持がなくても可能だ、資本主義の國々の包圍の中にあつても、革命は可能だといふので、一九二八年の、五年計畫の新經濟政策を案出したのである（未完）

記者曰く―本篇は金曜講演の筆記であるが、その前半は本年二月廿一日の當新聞に掲載した博士の歸朝談「新興ロシアを語る」と重複するので割愛し、後半だけを要約したものである（文責在記者）

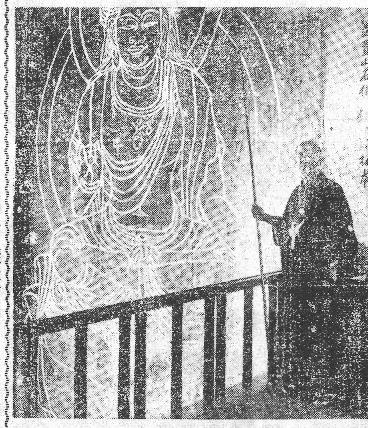
新風景　京の四季

……はまた京の一名物が加はるわけだ……京の人には小島の鳥の啼き聲が早朝から全山に充……

「京大展望」を讀みて（上）

田村德治

税政公平の點から



陳列館の階上に朗かな「存在は西田教授」

◇……人物のある風景（？）

◇……文學部陳列館の研究室を訪れると、……西田直二郎教授を……來る、教授は古……背の中にうづくま……變哲もない有樣だ……教授として、ケンブ……留學して、民族學……研究し、獨逸に渡……

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナハ携帶用ノ優秀器
英、佛、獨、露語、數、化、工學用凡テ完備
東京銀座 黒澤商店
京都寺町三條 電上一〇〇四 文適堂
¥135.

ガンヂーへの降服？（上）

島崎健造

1931年もすでに半ばを突つぱしつたが、イギリスのジャーナリズムは依然二つの暗色から脫し切れないでゐる、まことに沈鬱な面影である、二つの暗色？それは36ポイントでトップを切るがいゝ、Sの字二つだ"Something For Nothing"（失業問題）と"Surrender To Gandhi"……

「私はガンヂーへの降服に反對する、私はアーウイン・ガンヂーの協定に絕對反對だ、ガンヂーは今や英國をインドから除外しようとしてゐる、ガンヂーは永久に英國をインドから放逐しようとしてゐる……

新刊紹介

雜誌

（第三種郵便物認可）　昭和六年六月二十一日　京都帝國大學新聞　（日曜日）　第百四十五號　（三）

炎天下に覇を爭ふ
高専大會日取決定
七月十二日の射撃を皮切に
吉田原頭戰機迫る

榮冠はどこに？
情報はかく語る

京都・九州兩ゾーンの
決勝は白熱する
十五日から行はれる庭球

四高の覇權を狙ふ
三高・關學・同志社・關大
四帝大聯盟野球大會

高校は佐賀と八高
高専は早高と關學か
全國高專水泳決勝

拔群のチームなく
形勢豫斷を許さず
全國高校籠球大會

四年連覇を誇つた本學
同志社に大敗す
第八回對抗戰籠球大會

さあ行かう！
洲本へ——洲本へ
わが等のサンマーハウスは
七月十日から開場

近年各校の
實力平均し
全く豫斷されぬ
弓道大會

甲南・外語
關大の巴戰
興味多き射撃

今年も優勝の鍵は
千六百米繼走に
第二回全國高校陸上競技

日體・慶師・大商・八高が
有力な優勝候補
東京で行はれる排球

山を思へば若人の
胸は躍る！
◇…旅行部山嶽班が立てた
今夏のスケヂュール

「去を夏の年」
——ぐう暮したか
紙上座談會記事を募る

經濟史研究

眼鏡専門　正確　廉賣　京都帝國大學醫學部眼科御指定　府立病院眼科小兒科前　吉川眼鏡店　電話上四九一番　振替大阪三八七二番　機逸カール、ワイス會社　直取引

大學ノート　御學、兩會部御指定　各文具店　鳩居堂

小山齒科醫院　醫學士　小山正光　電話上五八二五番

クスリ　東山藥局　淺野電停前　電話上三四〇番

白井眼鏡店　京都帝國大學前　前院内學大國帝都京　電話上二三〇番

味覺滿點　中華館　對山閣　京都市河原町通四條南入ル　電話上四五五番

山陽先生の詩に就て

文學部教授 鈴木虎雄

賴山陽先生の百年祭が行はれるから先生の詩に就て話せとの依頼によつて聊か管見を申しのべる。

本邦の詩は奈良平安兩朝には齊梁から初唐、中唐の詩風が貴ばれ足利から德川初期までは北宋の蘇黃・晩唐の系統をうけた南宋の江湖派流の詩風が行はれ、正德享保時代には明の七子を奉じた徂徠一派が流行し、天明寛政文化文政へかけては其の反動でまた晩唐南宋を貴ぶ者が出で來たのである。清詩の若干も此頃傳へられた樣である。山陽先生はこの反動時代に生れあはせた人である。

山陽(以下暫く敬稱を略す)は自分は文は好んで作るが詩はあまり作らぬと言うてゐるが近頃木崎好尚氏の編した山陽詩集には千九百八十八首を收めてある、多作家の方である。

彼の作品を見るには彼の詩眼如何を見る必要がある。彼の詩眼は割合に高く且公平である。唐で杜・韓の古體を推し、宋で蘇陸を推して居り、明では徂徠が李・王ばかりかついでゐるのに彼は李夢陽を知り、歷城何及慶陽才というてゐる。詠史樂府で李東陽(西涯)を推したことも周知のことである。清朝では錢牧齋をくさして吳梅村を揚げ、朱竹垞・王漁洋をほめ、乾隆三家では蔣心餘・趙甌北を激賞して袁隨園を貶し、特に本邦にかける隨園崇拜の陋を笑うてゐる。それから本邦諸家の前代及び並時の人々に對する論評も概ね的に中つてゐる。而して彼の作詩の基本思想は何であるかといふと「廣く書物を讀んでそれを消化して我が才力を以て之を酒に釀す樣にかもしだす」といふに在る。彼は嘗て杜子美の讀書破萬卷、下筆如有神、の句と嚴滄浪の詩話の詩有別才非關學也云々の語とを擧げて門人に示して答案を求め、自ら解決を與へた詩を作つてをる。其の中に、性靈與學問、豈可分崖垠、譬如蜂造蜜 百花萃芳醇、蘊蓄其精華 釀成一家春、咀含不能化 其味何足珍、讀書而忘書 庶與古賢倫 というてあるのは上述の意味である。

かやうな詩眼をもつてゐた彼の詩は果して其の意見どほりの作品ができたかどうかといふと、多くのものがさやうである樣に彼亦眼高く手低きを免れぬ。杜韓などにはその足もとへも近寄れぬは勿論のこと、隨園を貶したをりに此際能與元虞爭といつて輕視した元遺山や虞道園にさへもどうかとおもふ。彼の好きであつた東坡と放翁とには其の或る部分を得てをるといふことはできる樣である。古今體を通じて彼は其の本領たる史實に關する作が出色のものである。七言古詩で壇浦行、荷蘭船行、佛郎王歌、倪文正公眞跡引、文治經桌歌、興國塔餘歌を取り、七言律では丁巳東遊六首、詠史十二首中の八首、謁楠延平傳、謁加藤公廟二首を取り、其他五古、七絶若干首を取つてをるか、誠に嚴選で此等の七古七律は皆名作である。所で邦人間に膾炙する「文政之元」・「東海大魚」・「雲耶山耶」・「衣至骭」・「鞭聲肅肅」等は一も曲閣は取らぬ。曲閣は多く支那流の詩を取つたので「東海大魚」を除けば此等を取らなかつたことは余も諒とする。曲閣は本邦の史實を知らぬか。「東海大魚」は意味がよくわからなくて省いたのであらう。缺點をいへば山陽の七古は散文的で修辭の上からは遺憾の處が少くないが、「東海大魚」は取つてよろしからう。又芳野竹笛歌・過櫻井驛址、笠置山歌・謁延元陵詩、詠史血歌も取つてよからう。此等は山陽の心血を嘔いた作とおもはれる。其他頭顱彎等の作にも見るべきものがある。七言近體も遊戲筆墨は別として議論感慨を寓したものにはいくらも取るべきものがある。五言は大體に於て見劣りがする。今一々いふことはやめる。

終りに日本樂府に就て一言する初め文政六年に山陽は支那の史實から唐の李泌に關した環苧行と宋の趙普に關した燒肉行とを賦し、のち同十一年に國史の史實に本づいて六十六首を賦したのが日本樂府である。木崎氏の考證によると「蒙古來」だけは十八九歲の頃の作、又別に二首の追作があるとのことである。山陽は自らその跋をかいて元の楊維楨等の樂府の淺易を誹り「二十一史彈詞と相去る幾もなし」といひ獨り明の李東陽を推した彼は之について「治亂の機竅・名教の是非に於て或は小を以て大に喩ふべし」といひ、又人に書を與へて「大分有用の詩に可相成と被存候」というたとのことである。

その心掛けは殊勝であるが作詩目的は達せられたかどうか。山陽の手本とした東陽の作既に率直に失して餘味の無い者が多い。しかし中には長篇もあり面白い作がなかなかある。山陽の作に至つては實用向きであるかも知らぬが余は其の文辭の妙を見出すとはできぬ。「蒙古來」でも「本能寺」でも劍舞などに適せようが文學としての價値はどうか。「蒙古來」は立言の體からいふと、吾怖關東令如山と武士の敵愾心を命令の脅迫によるかの樣にいひなしてをるのは穩當とはいへまい。大體からいふと日本樂府は余輩には矢張り「單調」ぐらゐにしか見ねぬ。

山陽先生の不朽の文章は誰が見ても「外史」と「政記」とである。「外史」・「政記」こそは先生が書いた活きた詩だ。我が國民精神をうたふもの近代之にこしたものはあるまい。先生の詩篇はそれと一致した或るものだけ(予が前に述べおきし如き)が同じ樣の價値を有するものである。予は今文學的の立場から管見をのべたのであるが若し教訓的立場から論するならば問題はおのづから別になる。

戀を知る頃

詩經エロチシズム(續篇)

岡田正三

母でもなく、姉でもなく、妹でもない。さうした女が胸に巣くへば若人は其女に就いて色々と美しい言葉を探す樣になるものである父でもなく、兄でもなく、弟でもない。さうした男が胸に巣くへば乙女は其男を非常に賴もしく思ふでは詩經の若人は女を何と言つて稱へ、乙女は男を何と言つて賴もしがつたか。私は其を語る前に先づ當時の美人とはどんな姿の者であつたかと云ふことを言つて置かう。

九條武子夫人は日本一の美人と歌はれたけれども其家庭は淋しいものであつたさうである。詩經にも夫人と同じ樣に絶世の美人であり乍ら夫の愛を受けることが出來ないで淋しい一生を終へ、大いに世人の同情をひいた人がある。其は衞の莊公の夫人莊姜で、彼女の詩を讀めば其胸中も察せられるのであるが、其は項を改めて紹介することにして、こゝには世人が彼女の美しさを何と言つて稱へたかと云ふことを紹介して當時の美人の面影をほのめかすに止める。世人が彼女を憐んで歌つた詩(碩人)の中に

手は柔きつばな草
肌は脂のこごれるか
頸はほつそり木食ひ蟲
齒はさながらに瓠の實
小蟬の首蛾の眉毛
につこりとした口元よ
美しい目の涼しさよ

とある。其中で小蟬の首と云ふは額が廣くて正しいことを言つたもので、莊姜と云ふ女のことを歌つた詩(君子偕老)では額のことを更に判然言つて「生ねざわあがり色白く」とある。又そこでは鬢のことも「黑髮は雲の如く、かもじは用ゐず」と言つて房々とした黑髮も美人の一資格であることを語つてをる。

髮・額・目・口元・頸・手などと別々に見ればさうであるが、一口に言へば美人は美しい花にも譬へられよう。有女同車と云ふ詩は

乙女子と相車
かんばせはむくげ花
いそいそと〳〵
佩玉は瓊琚
あの美しい姜の孟さん
誠に美しく都ひた

と言つてゐる。

「靑蠅に鵬」とは東方君子國の靑年が女に向つて意氣地のない自らを嘲笑した言葉である。或男が某大家の前を通つて其の階上の美しい令孃を見染め、何とかして其家に取入らうとして、鏡磨きに身を落し、日毎その家の前を通る內に首尾よく賴まれた。そこで其男はその鏡を打ち碎いて、貴重な物を壞したが辨償することも出來ないから一生下男として使つてくれと言つて其家に住み込んだとは支那の或物語の一節である。美しい乙女を見れば若人は恥を忘れてひたすらに思ふ。禮儀など顧みる餘裕はない野有死鹿と云ふ詩に

くじか死にて野末にあらば
ちがやもて包む習慣に
乙女子の春を懷はよ
うまし男が慕ひ寄る

あさましい男心とは云へ、初めから禮儀をわきまへぬものではない。初めの內は鹿爪らしくしてゐても餘りに美しい乙女に向へば、つい其れを忘れるのである。此詩の第二節に言ふ

林に下木あり
鹿死にて野末にあらば
ちがやもて包むと知れど
この乙女玉を欺く

男は最早前後の見境もなく乙女に近付いて行く。乙女のハンカチに手が觸れる。乙女が從へてゐるむく犬が吠ゑ付くかも知れぬ。此詩の第三節は乙女の言葉で

ゆつくりと、あせりますな
ハンカチに觸れてはならぬ
むく犬が吠ゑつきますよ

××××

併し乙女だつて年頃になつても男に振り向きもせられないのは淋しい。殊に婚期も漸く過ぎて行くのに誰一人求婚してくれないとなると心がいらだつて來るのを如何ともすることが出來ない。摽有梅と云ふ詩の三節が示してゐる樣に

落ちる梅が
木にあるは十に七つ
私を求める殿方よ
吉日をにらんで下さいね

はまだよいが

落ちる梅が
木にあるは十に三つ
私を求める殿方よ
今よ今よ

になるとあせり氣味が現れ始め

落ちる梅が
手籠を持つて取りなさい
私を求める殿方よ
約束だけでもして欲しい

となつてはオールド・ミスの悲哀切なるものがあるではないか。更に若しそれが以前男に肘鐵砲を食はせた經驗のある女であつたならば其悲哀は一層痛切である。丰と云ふ詩に

主の恰服
私を待ち待ち門の外
送らなかつてうらめしい
主の男らしさ
私を待ち待ち家の內
送らなかつてうらめしい
錦の衣にうす物まとひ
錦の裳にうす物まとふ
太郎さま次郎さま
御車寄せませお供する
錦の衣にうす物まとひ
錦の裳にうす物まとふ
太郎さま次郎さま
御車寄せませ嫁ぎます

と云ふに至つては慘めである。

××××

思ひ思はれた若人と乙女。私は最早くど〳〵しく說明の文字を並べる必要がない。自由に彼や彼女に歌はしめて此項を終へることにしよう。

しほらしい娘(靜女)

ほれぼれする樣なしほらしい娘
街のほとりで私を待つて
かはいゝ私が見ゐなけりや
ほつれ搔き上げ立ちもとり
ほれぼれする樣なしほらしい娘
丹塗りの管を私にくれた
丹塗りの管はテカテカ光る
ほんにお前はよい女
野末でつんだつばなをくれた
ほんに美しい珍らしい
物がよいのぢやないけれど
是はあのこの贈物

大夫の車(大車)

大夫の車からからと
畫いた衣はあしかびの色
どうして貴男を思ふまい
あの人恐さによう行かぬ
(二・三節略)

叔さんは狩り遊び(叔于田)

叔さんは狩り遊び
巷に人の影もない
人がないのぢやないけれど
叔さん程の人がない
あの美しさ、おやさしさ
(二・三節略)

主の衿(子衿)

靑い〳〵主の衿
佗しい〳〵私の心
たとひ私は往かいでも
主さんどうして度々來ない
(二・三節略)

最後に朗らかな所を紹介しやう

溱と洧と(溱洧)

溱と洧とは
今やなみなみ
男と女は
探るよあららぎ
「行つて見ませうよ」
「もう見たのだが」
「でも行つて見ませうよ
洧のあたりは
廣々として樂しいわ」
男は女と
相たはむれて
贈るよ芍藥

紙上座談會

去年の夏をどう暮したか

應募原稿

(1) トラック助手斷想

K・R生

トラックの助手に雇はれて廿日になる、今夜は晝夜兼行の鮮魚の運搬だ。仕事にも少々慣れ、兩手の掌に盛れ上つた豆の行列。肩から二の腕への筋肉の隆起。どうやら勞働者らしくなつて來た。

トラック助手は積み荷、配達人夫兼運轉手の技術助手から車の掃除までやらねばならぬ。圓タクの助手のやうに呑氣なわけには行かぬ。體の疲れること甚だしい。

東北線のU市から夕暮魚を滿載隣縣の織物地A市K市E市の魚市場へ翌朝の間に合ふやうに配達しその足でT市へ出て中仙道を東京へ向つて出發せよとの主人の嚴命だ。

浴衣の散步姿がチラック頃、われらのシボレー・トラックはエンジンの音も鈍く運動を開始する、四百貫以上の魚を積み上げて彼は悠然と闇の中を疾驅する。ヘッドライトだけが凄く走る、夏とはいへ夜更けの空氣はひやりとする。エンジンからの熱氣が快よい。最初のK市を過ぎると頻りに眠くなる運轉手は無言で、ハンドルを握り續ける。急に肩をどやされる。目の前がかすれて何が何やら分らない。「おいK市だ荷を下すんだ」運轉手の聲が耳元で我鳴り立てる。魚を下す度に融けた氷が不氣味に體に流れこむ。冷い、荷は重い、手が切れさうだ。倉庫の番人め提燈だけ突き出して立ち乍ら眠つてやがる、運轉手の奴までハンドルの上で大いびきだ。「ちゑつてんでに寢てくさる。こんな夜中に働いてるなあ俺一人か、馬鹿臭い。」癪だから「おい〳〵車を早く出して吳れ寒くて仕樣がねいや。」と運轉手をたゝき起す。今度は俺が眠るんだ!E市まで、全部荷を下した時は東の空が白んで來た。運轉手は突然車を未だ人通りのない往來に止めて眠り始める。朝の冷氣が浸みる、之から東京まで凡そ百哩が容易じやない。私も綿のやうな體を、蝸のやうに縮めて前後もなく運轉臺の中に、どつかと棒のやうに倒れてしまふ。

(之は私の三箇月間の助手生活中の拙い乍らの一斷面です)

(2) ほがらかな夏よ!

本山生

來年の事を云ふと鬼に笑はれると云ふが、去年の事を言つたらどうなるんだらう?オイ、此夏はどうして暮した?と聞く奴はあつても、此年になつて、去年の夏は……てな事を聞く奴は、タントは居ない、そして聞かれて話して、聞いて面白い話つたら、ソウあるもんぢやない、かへつて、プランの方が面白い事が多い。閑話休題—でと、去年の夏は、リュックサックをしよつて、北海道の東北海岸に出かけた。毎年此地方は御承知と思ふが、漁村の男は働ける者全部と云ひたい位、大ぜいロシヤ沿岸に出かせぎに出る、あとは女と老人子供、女は男ひでりでオーゼイになつて居るから、そんな處には泊まる事は出來ない。そこでテントは持つて居ても、漁村では小學校にとまる外はない「之から先は人家がないから、泊つて行きなさい」とはちきれさうな胸を持つた女が、円かどやかして言ふが、ドッコイ此方は參謀本部の五萬分の一の地圖を持つて居る、だから聞かぬ振りで通りすぎるが、中々アッサリとは放免して吳れぬ。それから小學校長の門をたゝく、大ていは壯年の老人だがどこでも「やあ、かまはないからお泊りなさい」と大歡迎だ。年頃の娘さんの御酌で一パイのめる事もある、時には、もう一日と言はれるがそれは「村の子供に何かお話しを……」と云ふ事なんだ、そこで「花はナゼ美しい?」と云つた樣な事の通俗講演?をやる何しろエライ大學生が來て話すのだ、皆謹聽して吳れる、翌る日は晝めしの用意萬端して吳れて「又來年も……」と名殘りを惜んでくれる處もある、勿論宿錢なし、どこに行つてもこの調子で、一月位步いたが、熊も出ず、あまり暑くもない金のかゝらぬ旅行であつた

(3) 歸省して此苦しみ

秋靈子

六十になる兩親を助けて飼つた蠶だ。確に二十圓位はある、春蠶の暴落以來所詮夏蠶の格安はきまつてゐる。だが三圓は割るまい、そうすると六十圓は入る、次から次へとかうしたことがネオン・サインの樣につかれた頭をかすめる、蠶具の散らばつた部屋には蠶の香がむれて、顏の上に低く垂れ下つた蚊帳がバカに氣うとい、側には明日の荷出の前景氣に母がつけた晩酌に、こゝろよく父が眠つてゐる。おゝこの父こそ學資に窮する父だ。手に餘る程も夏蠶を飼せた父だ、どこまでも理窟で固まつた若僧の自分が、馴れない仕事のために隨分と苦勞をかけた父だ、その父は今よく眠つてゐる、一體父の報酬は!こゝまで飼いた私の想念は「お前は金づかひが荒い」といふ平素の父の顏と、言葉でぶつつりきれた、自分は今度の蠶では働いた、骨身をおします働いた、しかし父には及ばない、そして明日手に入る金は—すつくりそのまま九月には持つて行くんだ—!

「もう遲い樣ですが、おやすみなさい」と聲をかけた、しかし母は「今少しです、明日はお前はこれを擔いで行つてもらはねばならぬのだから、おやすみ、一つでも屑繭が出ると、等級が下るでなあ」いつまでもざら〳〵と撰繭器をすべる繭の音が、そして時折ほの輕いせきが—自分はねむらねばならぬ、外ではうるさい程に蛙が鳴いてゐる

前島法學士著「强肉弱食」

(二節略)

大野久麿夫

僕が學生時代には隨分變り者が多かつた。その中で毎日圖書館の入口の所に座を占めて、入つて來る學生の顏許り眺め机の上には和綴の易の本や、骨相の本を堆高く積み重ねた穢ない學生がその當時評判になつてゐた。

何でも一高から來た學生で、骨相や手相の事許り研究してゐるとか、法科にゐて法律や經濟の本は少しも見ないと云ふ變り者であつた。

僕の手相を見せてくれと云ふのが緣で、親しくなつたが、中々面白い男であつた。僕はその時は二度目の入學で洋行から歸つて來た當時で家も妻もあつたが毎日の樣に僕の家にやつて來たこの男武道が好きで武德會などに時々一緒に行つた。當時の劍豪內藤範士や門奈範士の骨相を見て色々と評するのが不思議に當つた。

ある時昔僕が下宿してゐた宿に行つて丁度遊びに來てゐた三高の生徒の手相を見て「この子は間男して出來た子か、高僧の子だ」と放言したので皆が喫驚した、が後でその言の當つてゐたので却つて喫驚した。

或る晩僕の家に遊びに來て十二時前に歸つたが其間に自分の家がすつかり全燒してゐた事もあつた「君は常に手相や骨相などと豫言者めいた事を云ふが、自分の家のやけるのは判らんと見ゐるな」と冷かした事もあつた。

A教授の試驗の前夜にやつて來て、明日あの教授の試驗問題は骨相學から見て必ずこの問題中から出すよと、十題程書いて來てゐたのを信じ、それ丈け見て行つたら一問も當らず、本人も大いに憤慨してA教授にくつてかゝつた事も覺ゐてゐる。

この男は前島熊吉と云ふ佐々木教授や若槻首相と同縣の者。一高—京大—東大—法務官—關西大學講師—辯護士とまるで職業巡禮をやつてゐるがその經歷談を忌憚なく暴露して「强肉弱食」と題して今回出版した。

近頃暴露的の著書は隨分多く出版されるがこの位面白いものは外にあるまい、特に「紋瓶輝く」の一高相や「エロと神秘の都」の京大相は京大に關係ある者は卷をおく能はず、一瀉千里で讀破し得るものだ。

其他「蝙蝠官吏」の法務官時代や「色氣以上」の東大時代「弱女郎」の辯護士相は骨相、手相專門たる法學士(京大)文學士(東大)の著者そのものゝ性格をよく著し、近頃になき肩のこらぬ良書と特に京大學生に一讀を進む。(東京荻原星文館發行、定價金一圓五十錢)

高橋希人氏の歌集「淡彩」

木村流二郎

畏友高橋希人氏の歌集「淡彩」がいよいよ出て自分も一本を貰つた。卷を開くと、若山喜志子女史の序文がある。これによると著者は十八九歲の頃から歌を作り早くも牧水門に入つて精進を怠らず今日創作社にあつて重要なる同人の位置にある人である事がわかる。

氏の歌から受ける感じは淸澄典雅この四文字に盡さる。その淸澄さは夏の曙を靑山にかゝる白雲の姿にもたとへやうか、またゆかしくも典雅なその氣韻はいづくともなく匂ひ漂ふ花の香とも言はうか、まことに「ありとは見ゆれ手にはとれなく」とでも言ふやうに仄かではありながら犯し難い品位を持つてゐると喜志子氏も述べてゐられるが、高橋氏の歌を讀んだものは誰れしも全くこの通りなのに首肯するであらう「淡彩」と命名されたのも亦宜なるかなと云はねばならぬ。一卷五百二十一首大正八年から昭和五年に至る十二年間の作ことごとく、と云つてもよいくらゐ俗に云ふ淡彩の味である。集中どの頁にも佳什は見出されるが左に十數首を抄して拙文を擱く(創作社發行一圓七十錢)

この朝の霧の深さよ小使は火鉢を出して火をおこし居り

田の草の末だとらねば伸びのびて原かとまがふに鳴く蛙あり

泥搾船しづしづと位置をかへたれば港の沖に遠く艦見ゆ

冬凪の今日の濱邊によする貝の櫻貝あり子安貝あり

やはらかき寂しさありて光悅の色紙の文字はよめねどもよき

足のして泳ぎ寄りくる烏賊のありなしに靜けき今朝の潮に

たのもしと思ひ居しことこの夕べ思ひ返へせば空しきに似る

日にけに咲きつづくなる雛芥子の赤きは暑し捨てさせにけり

夕餉了へて含むメロンの冷かさ秋も漸く更けてきにけり

ふくよかに指あくぼある手の白さ蠟紙に花を包みて持てる

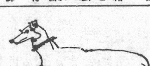
二階より見て笑ましもよ團扇もち冷みの子供かたまりて行く

我部屋に吹き入る風のすがしきにつばくろ一つ流れ來にけり

シンクレアの「大學百貨店」

この本を讀みつゝ先づ感じたことは恐ろしく讀みづらい本だといふことだ、一體シンクレアのものは「ブラス・チェック」でもさう感じたのだが、所謂小說風の興味でグングン引きつけるといふ所もなく、又ヂャーナリスティックな筆でもないが、はつきりしたイデオロギーの下に剋明に事實をあつめ、これでもか〳〵と讀者に押しよせる、さういふ意味でこれはプロ文學の本道を行つてゐるといへるだらう、さてこの書に展開された事實—それは神聖らしい、仰々しい「眞理」のベールに包まれた大學を裏からのぞきあげたものだ、何とそこには惡辣な策略と唾棄すべき陰謀が公々然と行はれてゐるとか「是はアメリカの話だ」と云つてすましてをれるだらうか、日本の官立大學にはあれほどのとはないにしろ、果して勇敢に全部を否定し去るとができるか「大學の轉落」を論ぜんとする人々は先づこの本を讀んで、その眼で日本の大學を見るならきつと視野が廣くなるだらう、くだ〳〵しい大學教授の論文を讀む努力を以てすれば、その何分の一かの努力で、もつと生々しい智識が得られるだらう(喜多洋)

APERITIF



ガーシュウインはニューヨークのイースト・サイドの生れ、ブロードウエーのオペラ街で名を成して今度ハリウッド入りをしたわけだ年はまだ、やつと卅そこ〳〵といふ若さ、廿五歲の時の作品「ラプソデイ・イン・ブルー」で一躍樂壇にその希才を謳はれるやうになつた。その後「コンチエルトー・イン・エフ」「アン・アメリカン・イン・パリ」の二つの作品は彼の米國樂壇における位置を確定的にしたものだつた。ハリウッドでは彼の作品に對して一曲十二萬五千ドルを支拂ふさうだ。

◇

「オルレアンの少女」ジャンヌ・ダルクが火炙りにされて今年で丁度五百年になるといふので、五月末かの女の所刑されたルアンでは、一週間にわたつて盛大な記念祭が催された、夫で思ひ出すのはフランス敍情詩の祖といはれる放浪の詩人フランソワ・ヴイヨンのことだ。

◇

ヴイヨンはジャンヌ・ダルクの火炙りにされた同年の一四三一年に生れた、人殺し、泥棒、喧嘩、逃亡、そしてその最後は今でもわからない、十五世紀の大學と大學生の生活を背景にした彼の傳記は、それだけでも十分に興味のあるものだ。

◇

グラン・テスタマンとプテイ・テスタマンの中に收められた彼の詩は、全篇を貫く悲痛な悔恨と、純情と、殘酷なまでの自我の分析において、數世紀を隔てたボードレールとコレスボンドするものがある、ヴイヨン生誕五百年に當る今年を機緣として、彼および彼の詩は、もつと一般的に研究されてもいゝものではあるまいか——たとへ語學的な厄介さはあるにしても——。

◇

エンリーコ・カルーソが死んでから八年になる、彼の遺骸は赤色廣場のレーニン同樣防腐劑で處置して、ガラス箱の中に收め、音樂巡禮者が、いつでも、彼の生きながらの姿に接しられるやうになつてゐる。そこまでは誰でも知つてゐることだ、が、死んだカルーソが三年每に衣替へをして、常にデルニエ・クリの瀟洒たる服裝を整へてゐることはあまり知る人があるまい「カルーソはとてもお洒落だつた、だから死んだ後も流行遲れの野暮な恰好をしてゐるのは、さぞ嫌なことだらう」といふのが、彼の友人連をして、かうした企てを始めさせた所以だつた。

◇

そこでナポリのホテルではこんな會話がよく聞かれる「今年はカルーソが靴を新調するさうだよ」「いや、シャツだけ取替へるつて話ぢやないか」等、等。

◇

五月十六日の夜、ボローニャの國立劇場で、トスカニーニがコンサートを指揮することになつた、ところが、プログラムの中に「ファシストの歌」を入れることを彼が峻拒したといふので、土地の國粹黨員が大擧して劇場を襲ひ、音樂會は滅茶々々になつた上に、トスカニーニは散々なぐられて、身をもつてミラノに逃げ歸つた。べら棒な話だが、本當の話だ(K・O・H)

廣告

銘菓 東山
特製 都富士
銀沙灘
其他和洋生菓子
御進物用種々出來
階上は、ティーパーティー等
小御集會に御利用願上候
大學線百万遍
かぎ政秋 菓舖 茶房
電上一七三四

高專大會近づく
全國各高等諸學校から選手諸賢のお宿は當館に御決定下さい。京大に最も便利な處にあり、宿料、御待遇等に就ても必らず御滿足を願へることを確信して居ます。
帝大醫院前
池田屋旅館(電上三二四一)

ロンドンスタイルの洋服はナガヤ
寺町丸太町電停南
共濟部指定 電上四六三番

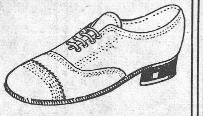
琴古流
尺八教授
○顏當りは顏の形により異ります、自分で吹いて鳴らぬ人でも遠慮なく御越し下さい、必ず即座に鳴ります
○稽古尺八無料貸與、詳細直接御來館下さい
(入會金一圓也 帝大生は特典有り)
大學線熊野神社上ル東入
大日本竹道學館本部

洋服は
仕立最も親切ナ
共濟部指定
有本
帝大北門前 電上三六二七

神經疾患治療劑
フィチン「チバ」
神經衰弱・ヒステリー・健忘症・身體虛弱
神經性生殖器衰弱・骨軟化症・病後回復期等
に著効あり(錠劑・粉末)

6-28

診察衣
看護衣
手術衣
實驗衣
の御用は專門の
福田洋服店
京都市竹屋町寺町東入
電話上二五九番
振替口座大阪二八二九〇番


白靴
特價大賣出し
白リンネル
二圓八〇ヨリ各種
學內出張販賣場所
舊本館二階(學生課階上)
京大學友會共濟部指定
林清三郎商店
京都東山線熊野神社上ル東
電話上五七三一番

夏の御用意は先づ頭から……
御散策に、御旅行に
マルニ特製の理想的夏帽
▼市價の二割安▲

段値	
ストロー	一、二〇—一、五〇
パナマ	八、〇〇—二〇、〇〇

其他ソフト、夏帽各種
學內出張販賣
舊本館二階(學生課階上)
▼正價ヨリ一割引▲
京大學友會共濟部指定
マルニ帽子店
京都市熊野神社東丸太町上ル西側

雨しごゞ……
大丸のレーンコート

レーンハット	¥2.60	4.00
セイツレーンコート	〃18.50	24.00
ブロード	〃18.00	
アイデアル	〃17.50	23.00
マッキンレー	〃13.50	17.00
スマート	〃10.00—15.00	
トレンチ型	〃15.00以上	
バーバリー	〃52.00	63.00

其他ゴム防水加工品多數等

京都◇四條